

関連講座のお知らせ

② 宗達派の草花図と園芸趣味

日 時 || 11月7日(土)14:00～15:30

講 師 || 奥平俊六氏(大阪大学名誉教授)

参加費 || 無料

定 員 || 50名(先着順)※定員になり次第、受付終了

会 場 || 講座室(宝物殿地下)

講演内容

わが国は園芸大国であった。近世初期の京都において園芸趣味を主導したのは宮廷と公家たちであり、しだいに武家や庶民にも広まっていった。宗達と宗達派の画家たちは、まず公家社会との接点から草花図を描いていったのではないか。



奥平俊六氏 プロフィール

愛媛県生まれ。大阪大学名誉教授。東京大学大学院卒。専門は日本絵画史。とくに近世初期の風俗画、狩野派、琳派など。主な著書に『彦根屏風 - 無言劇の演出』(平凡社)『俵屋宗達』(新潮日本美術文庫)『屏風をひらくとき - どこからでも読める日本絵画史入門』(大阪大学出版会)など。

お申し込み

右記QRコードからお申し込みください



お問い合わせ

太宰府天満宮文化研究所 TEL 092-922-8551 (9時～16時)

美を競う花鳥画

現代まで

宗達派・探幽・省亭・秋聲から

初公開